

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-103746

(43)公開日 平成11年(1999)4月20日

(51)Int.Cl.⁶

A 01 M 1/02

識別記号

F I

A 01 M 1/02

A

審査請求 未請求 請求項の数5 書面 (全4頁)

(21)出願番号 特願平9-307804

(22)出願日 平成9年(1997)10月3日

(71)出願人 592213604

上妻 健一

鹿児島県鹿児島市和田町926番地34号

(71)出願人 592213615

上妻 宗清

鹿児島県鹿児島市和田町926番地34号

(71)出願人 592213626

上妻 サエ子

鹿児島県鹿児島市和田町926番地34号

(71)出願人 593075485

金丸 秀子

宮崎県都城市南横市町1957番地30号

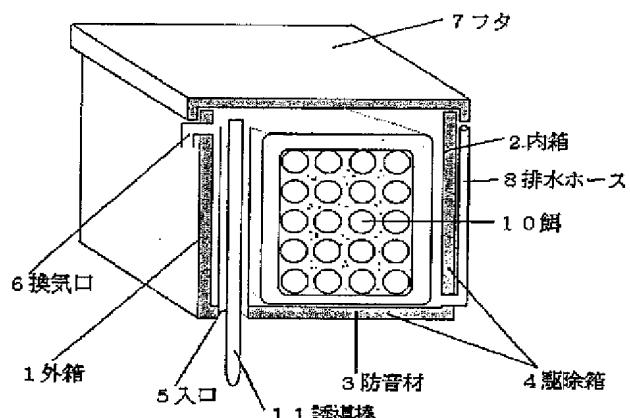
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 シロアリ駆除箱及びシロアリの餌の製造方法

(57)【要約】

【目的】 シロアリを駆除する箱を作り、シロアリの好物の針葉樹で餌を作り駆除箱に入れ、シロアリの臭覚を利用し好物の餌で集めて駆除する方法を提供する。

【構成】 シロアリを駆除するための駆除箱4、12を作り、シロアリの入り口5を設け、換気口6及び排水ホース8及び蓋7を設けた駆除箱に、針葉樹の廃木及び葉及び古段ボール等で餌9、10を作り駆除箱の中に入れる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】外箱（1）内箱（2）間に防音材（3）を入れ駆除箱（4）を作り、（4）の内側底面に穴をあけパイプを取り付けて、シロアリの入り口（5）を設ける、次に（4）の上部に換気口（6）を設け、駆除箱（4）に開閉する蓋（7）を設け、（4）の外側下部に排水用ホース（8）を設けたシロアリ駆除箱の製造方法。

【請求項2】金属またはその他の材料でできた駆除箱（12）を作り、（12）の内側底面に穴をあけパイプを取り付けて、シロアリの入り口（5）を設ける、次に（12）の上部に換気口（6）を設け、駆除箱（12）に開閉するフタ（7）を設け、（12）の外側下部に排水用ホース（8）を設けたシロアリ駆除箱の製造方法。

【請求項3】針葉樹、松の廃木と松の葉の部分と段ボール及び古新聞紙などを粉碎して、植物性の糊を混合したものを型に入れ固めてシロアリの餌（9）を作る、シロアリの餌の製造方法。

【請求項4】針葉樹、松の木の廃木を適当に切断した物の間に、小枝付きの松葉をはさみ込み結束して、その回りに段ボールを巻いたシロアリの餌（10）を作る、シロアリの餌の製造方法。

【請求項5】金属またはその他の材料でできた円筒形の駆除箱（13）を作り、（13）の内側底面に穴をあけパイプを取り付けて、シロアリの入り口（5）を設ける、次に駆除箱（13）の上部に、開閉するフタ（7）を設けたシロアリ駆除箱の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】シロアリを駆除する箱を作り、その駆除箱の中にシロアリの好物の針葉樹で餌を作り駆除箱に入れ、シロアリの嗅覚を利用し、好物の餌で集めて駆除するシロアリ駆除箱及び餌の製造方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のシロアリ駆除においては薬剤を使用して、駆除を行っている現状であるがこの方法では1回の駆除をするには数十万円の費用がかかり、また1回駆除しても5年から6年もすると効果はなくなり、5～6年おきに駆除しなければいけないので、駆除するごとに高額の費用がかかるうえに使用後も屋内に薬臭もあり、人体、家畜、ペットなどにとっても有害である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のシロアリ駆除は、薬剤を使用しているため、高額及び人体などに対して薬害たとえばアレルギーなどがあり、人体に対して有害であったのに対して、本発明は薬等は一切使用せず、シロアリを一箇所に集めて水で殺虫し、残ったシロアリは天敵の赤アリを利用して、赤アリが駆除箱から家中、地中まですべてのシロアリを食べ尽くすので、次のシロアリ発生がほとんどなく、無害、安価、容易なシロ

アリ駆除箱及びシロアリの餌の製造方法を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】家の回り及び日陰部分にシロアリ駆除箱（4）を据え付け、誘導棒（11）を地中に打ち込んで、次に駆除箱（4）の中にシロアリの好物の餌（9）または（10）を入れて蓋（7）を閉めて、シロアリが充分はいるまで置き、数多くのシロアリが好物の餌に食いついた時点で、駆除箱（4）の排水口（8）を閉め、水を入れて殺虫する、完全に殺虫されたら水を排水して、しばらくそのままにして置く、殺虫されたシロアリには天敵の赤アリが数多く集まってきて、シロアリの死骸を食べ、箱の中に住み着くようになり、その後は赤アリが家中はもちろんその周辺のシロアリの殆どを駆除します。

【0005】

【作用】上記のようにするとシロアリは好物の松の木の匂いを嗅ぎつけ、約30日もすると家中はもちろん、その周辺のシロアリの殆どは、駆除箱に入って住み着くようになるので1回の仕掛けで、数多くのシロアリを駆除することができる。

【0006】

【実施例】

【シロアリ駆除箱の製造方法についての実施例】

（イ）外箱（1）内箱（2）の間に防音材（3）を入れたシロアリ駆除箱（4）を作り、（4）の内側底面に穴をあけパイプを取り付けて、シロアリの入り口（5）を設ける、次に（4）の上部に換気口（6）を設け、駆除箱（4）に開閉するフタ（7）を設け、次に（4）の外側下部に排水用ホース（8）を設けたシロアリ駆除箱の製造方法である。

（ロ）シロアリ駆除箱（12）を作り（12）の内側底面に穴をあけパイプを取り付けて、シロアリの入り口（5）を設ける、次に（12）の上部に換気口（6）を設け、駆除箱（12）に開閉するフタ（7）を設け、次に（12）の外側下部に排水用ホース（8）を設けたシロアリ駆除箱の製造方法である。

（ハ）円形パイプ状のシロアリの駆除箱（13）を作り（13）の内側底面に穴をあけシロアリの入り口（5）を設け、次にフタ（7）を設けたシロアリ駆除箱の製造方法である。

【シロアリの餌の製造方法についての実施例】

（イ）針葉樹、主に松の廃木と松の葉の部分と古段ボール及び古新聞などを粉碎して、植物性の糊を混合した物を型に入れ固めた、シロアリの餌（9）の製造方法である。

（ロ）針葉樹、主に松の木の廃木を適当に切断した物の間に、小枝付きの松葉をはさみ込みじかに結束するか、その回りに古段ボールを巻いて取り扱いやすいようにして結束する、シロアリの餌（10）の製造方法である。

(ハ) シロアリは主に松の木が好物であるため、(イ) (ロ) の廃木を使用する方法をあげているがこの他、杉・ひのき等でシロアリの好きな物であれば良いし必ずしも樹木に限らない。

(ニ) 餌の製造方法については、特に松食い虫の予防として熱湯消毒又は水槽につけて水殺して、松食い虫が飛び散らない方法で製造する。

(ホ) 原木を輸入する場合は、特に(ニ)の方法を厳守する。

【0007】

【駆除箱の据え付け方法】家の回り及び日陰部分に駆除箱(4)を据え付け、誘導棒(11)を地中に打ち込む、次に駆除箱(4)の中にシロアリの好物の餌(9)又は餌(10)を入れて駆除箱(4)のフタ(7)をしめる、シロアリが充分入るまで置く。

【0008】

【殺虫方法】駆除箱に入った数多くのシロアリが、好物の餌に食いついた時点で駆除箱の排水口を閉め、水を入れて殺虫する、完全に殺虫されたら駆除箱の水を排水して、しばらくそのままにして置く、また赤アリもシロアリが完全に駆除できたら、駆除箱に水またはお湯等を入れて殺虫する。

【0009】

【発明の効果】殺虫されたシロアリには、天敵の赤アリが数多く集まってきて、シロアリの死骸を食べ、その後は赤アリは箱の中の餌に住み付くようになる、その後は

家中はもちろんその周辺のシロアリの殆どは、駆除され、尚かつ自然木と天敵の赤アリを利用した駆除方法ですので、人体、動物、ペットにも無害で、その上費用も安く安全で効果も高い一石二鳥の効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】駆除箱に餌を入れた状態の斜視断面図である

【図2】松の木、松の葉、古段ボールなどを混合して製造した餌の斜視図である

【図3】松の木の廃木、小枝などを挟み込んで作った餌の斜視図である

【図4】駆除箱の外観斜視図である

【図5】請求項2の駆除箱餌を入れた状態の断面図である

【図6】請求項5の駆除箱の斜視図である。

【図7】請求項5の駆除箱の断面図である。

【符号の説明】

1 外箱

2 内箱

3 防音材

20 4、12、13 駆除箱

5 シロアリの入り口

6 換気口

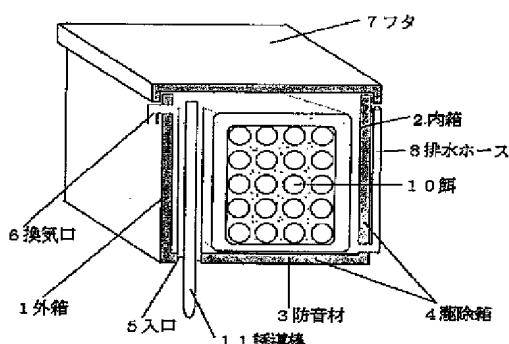
7 蓋

8 排水用ホース

9、10 シロアリの餌

11 誘導棒

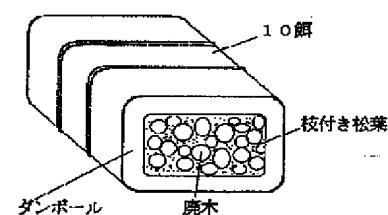
【図1】



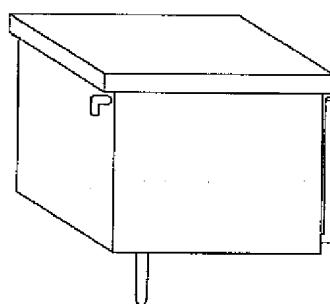
【図2】



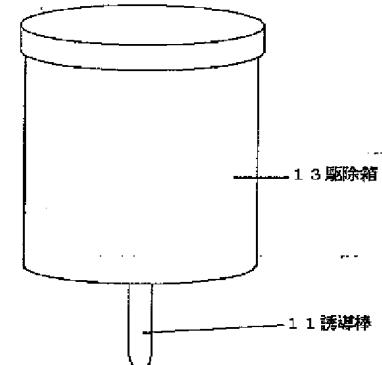
【図3】



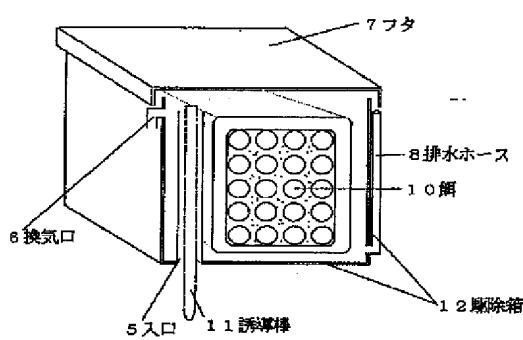
【図4】



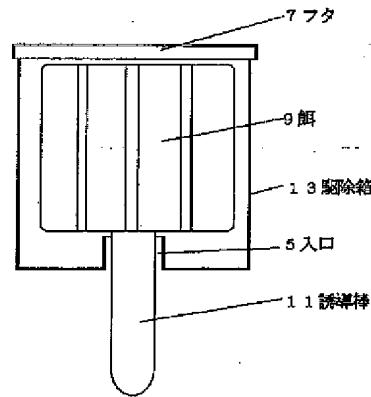
【図6】



【図5】



【図7】



フロントページの続き

(71)出願人 592213637

上妻 清子

鹿児島県鹿児島市和田町926番地34号

(71)出願人 593075474

有田 きみよ

広島県安芸郡府中町宮の町4丁目11番地18号

(71)出願人 592213648

上妻 えり子

鹿児島県鹿児島市和田町926番地34号

(72)発明者 上妻 宗清

鹿児島県鹿児島市和田町926番地34号

PAT-NO: JP411103746A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11103746 A
TITLE: PRODUCTION OF TERMITIC
EXTERMINATING BOX AND BAIT
FOR TERMITIC
PUBN-DATE: April 20, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAMITSUMA, MUNEKIYO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAMITSUMA KENICHI	N/A
KAMITSUMA MUNEKIYO	N/A
KAMITSUMA SAEKO	N/A
KANAMARU HIDEKO	N/A
KAMITSUMA KIYOKO	N/A
ARITA KIMIYO	N/A
KAMITSUMA ERIKO	N/A

APPL-NO: JP09307804
APPL-DATE: October 3, 1997

INT-CL (IPC): A01M001/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the subject box

improved in safety and hygiene by setting up a water discharge hose on the lower part on the outside of an exterminating box so as to gather termites at one place and kill them with water jet without the need of using any agrochemical or the like.

SOLUTION: An exterminating box 4 is made by sandwiching a soundproofing material 3 in between an outer box 1 and an inner box 2, the bottom of the inside of the box 4 is perforated and fitted with a pipe so as to provide an entrance 5 for termites; next, the top of the box 4 is provided with a ventilating hole 6, the box 4 is provided with an openable lid 7, and a water discharge hose 8 is set up on the lower part of the outside of the box 4, thus obtaining the objective termite exterminating box. Preferably, the other objective bait 10 for termites is prepared by sandwiching twig-bearing pine needles in between chips made by appropriately cutting waste coniferous tree such as pine tree followed by binding and then rolling the resultant bundle with a corrugated cardboard.

COPYRIGHT: (C)1999, JPO